



人命救助で 溝谷小学校児童に感謝状 (3ページ)

後列左から太田雄士君、梅田幸輝君、上田溪太君、平井秀知君、上田暁太君、中井優乃佳さん
前列左から今井慶士郎君、梅田裕斗君、桐村彩太君、梅田ちひろさん



京丹後警察署から感謝状が贈呈（左・梅田裕斗君）

今年二月二十日午後二時十分ごろ、弥栄町溝谷の農道を自転車で走行中の男性が、道路から約三メートル下を流れる溝谷川（当時の水深は約二〇センチ）へ誤って転落、動けなくなっていたところを、集団下校中の同校の児童が発見し、救出に貢献しました。状況を見て、「いてもたってもいられなかった」と

上田暁太（あきひろ）君（六年生）、上田溪太君（五年生）、梅田幸輝君（五年生）の三人は、約三メートルの高さにも臆さず、転落されたかたのもとへ接近。三人は、男性を抱き起こすとともに、寒そうにしている様子を見て、自分の上着を掛けたり背中をさすったりして、これ以上体温が下がらないようにと懸命に処置。「救急車が来ますから」などと声を掛け励ましたそうです。

また児童たちは、自分たちだけで助けられないと判断。梅田裕斗君（六年生）、中井優乃佳さん（六年生）、太田雄士（ゆうと）君（五年生）、平井秀知君（五年生）、梅田ちひろさん（四年生）、桐村彩太君（四年生）、今井慶士郎君（一年生）の七人は、二

手に分かれて二百メートルほど離れた民家へ駆け込み、一一九番通報を依頼。約十五分後、男性は駆けつけた救急車により、無事救出されました。

感謝状は、同校の児童十人が代表して受与。竹下敬二京丹後警察署長は「高齢者のかたを大切にすることが大切、温かく優しい気持ちに感激した。友だちを大切にすることが、思いやりが、今回の結果につながったのでは。互いに支えあい、心やさしい大人になってください」と感謝状を手渡しました。

見事な連係プレーを見せた児童たちは「びっくりしたけど、助けなさいといけないと思った」と発見当時を振り返り、「おじいさんが無事でうれし」と笑顔で話してくれました。（学年などは、平成二十二年三月現在のものです）

人命救助に一役 勇気ある行動をたたえ 溝谷小学校児童一同に感謝状

京丹後警察署から



現場で状況を振り返る

第10回 女子レスリングワールドカップ 日本代表

ご出場おめでとうございます（敬称略）

レスリング（団体戦）【3月27日～3月28日】～中国 北京～

48kg級	三村 冬子	（日本大学）
59kg級	正田 絢子	（網野高等学校教師）



表 彰

・人命救助で表彰 溝谷小学校 3

成 人 式

・新成人の門出を祝う 京丹後市成人式 4

総合文化祭

・京丹後市総合文化祭 6

魅 力 発 信

・ホッと丹後友の会 丹後ツアー 8

まちの話題

・北丹地方駅伝競走大会 9

・青年海外協力隊 小谷裕子さん 9

農林水産振興

・平成21年度農林水産業功労者（表彰） 10

・緑のふるさと協力隊 伊 藤 拓 さん 11

・第9回 丹後「農業・農村」写真コンクール 12

安心・安全

・丹後震災記念展 13

・1日分遣所長を委嘱 13

K T R

・北近畿タンゴ鉄道宮津線開業20周年

KTRの過去と現在と未来 連載スタート 14

京都府のひろば 16

誌上経営セミナー

・事業者のみなさんを支援します（最終回） 17

消防の広場

・消防統計 2009 18

職 員 配 置 20

ご 意 見 箱 24

まちの情報 26

市立図書館 27

保育サービス全体の活性化へ～



保育事業者選定委員会から市へ報告書を提出
（中央・梅田耕之助 委員長、右・蒲田 淳 副委員長）

保育所業務の運営委託については、平成十九年十二月に学識経験者、福祉団体関係者、保育従事者、市の職員で組織する「京丹後市保育事業者選定委員会」を設置し、平成二十一年一月から保護者、地元区、地域住民のみなさんへの説明を行ってきました。昨年十

一月から十二月にかけて受託社会福祉法人の公募を行い、応募のあった二社会福祉法人を対象に、同選定委員会において審査を実施。三月一日、市は同委員会から二法人の選定に関わる審査報告を受け、この報告を基に保育業務の運営を委託する予定の社会福祉法人を決定しました。

決定した受託社会福祉法人および保育所運営実績

▼峰山保育所（受託社会福祉法人）
社会福祉法人みなやま福祉会（京丹後市）実績：ゆうかり乳児保育所（京丹後市 定員三十五人）

▼網野保育所（受託社会福祉法人）
社会福祉法人不動園（京都府宇治市）実績：小栗栖保育園（京都市伏見区 定員百九十五人）

委託開始は、平成二十三年四月からの予定で、児童の受け入れ年齢の拡大、保育時間の延長、一時預かり事業、休日保育の実施を予定しています。

保育所業務の運営委託予定の 社会福祉法人を決定

市では、低年齢児保育などの多様化する保育ニーズに応えるとともに、保育サービスの活性化を図る目的で峰山保育所と網野保育所の運営委託をすすめています。応募のあった二社会福祉法人の選定について「京丹後市保育事業者選定委員会」（梅田耕之助委員長・八人）から市へ審査報告をいただき、報告書をもとに、保育業務の運営を委託する予定の社会福祉法人を決定しました。

保育事業者
選定委員会
から報告



①～③、⑦：華やかな振り袖に身を包みハイ、チーズ ④：ケーブルテレビジョンのインタビューに応える新成人
⑤：新成人を代表して米田教育長から記念品を受けとる吉岡彩さん

新成人のみなさんへ
素敵な贈り物
「Forever」
(フォーエヴァー)

NHK「生きもの地球紀行」の「BELIEVE」（ビリーブ、「Tomorrow」（トゥモロー）などの楽曲を手がけられている作曲家・杉本竜一さんの新譜「Forever」が京丹後市成人式で初演されました。

杉本さんは今回の楽曲を作成される際、昨年三月、京丹後市に来丹された折に触れられた丹後の自然と歴史のすばらしさ、何よりそこに住まわれる人々の温かさを感じ銘を受けられその時の感動を「Forever」に込められたそうです。

希望に満ち、未来に踏み出す勇氣を私たちに与えてくれるその作風は、まさに成人を迎えられ、未来に向かってさらに進んでいかれるみなさんにふさわしいテーマであり、今回初演された「Forever」は、前作「BELIEVE」、「Tomorrow」とともに未来の京丹後、そして日本のみならずこの青い地球を担う若者のみなさんへと歌い継がれていく杉本竜一さんの代表作となることでしょう。



喜びいっぱい夢いっぱい

新成人の門出を祝う 京丹後市成人式

あいにくの空模様となった三月二十一日、「平成二十二年京丹後市成人式」が京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）で開催され、色とりどりの振り袖や羽織りはかま、真新しいスーツに身を包んだ新成人六百二十二人の門出を祝いました。（今年の招待者は、平成元年四月二日から平成二年四月一日に生まれた七百四十八人のかたが対象）

式典は、京丹後市少年少女合唱団と丹後吹奏楽団のみなさんにより、優雅な曲と素敵な歌声で開幕。その後、中山市長が「みなさんは、お一人おひとりに『無限の可能性』があります。勇氣を持って積極的に自分の人生を切り拓いていってほしい。丹後で生まれ育ったことへの誇りや喜びを心に、常に心は、京丹後市とともに歩んでいってほしい」と式辞。

新成人を代表して、吉岡彩さん（峰山町出身）が米田教育長から記念品を授与されるとともに松尾栄祐さん（網野町出身）と井上加奈さん（久美浜町出身）が「二十歳の主張」と題し、新成人の決意を力強く宣言されました。

式典後には、町ごとに記念写真撮影が行われるなど、お互いにぎやかに思い出話を花を咲かせ、節目の日を存分に喜びあい、社会への第一歩を踏み出しました。

「二十歳の主張」



松尾 栄祐 さん
(網野町掛津)

「二十歳の主張」
まず、無事に成人式を迎えることができたことに際し、非常にうれしく感じると同時に、これまでお世話になった家族、友人をはじめとして学校の先生方、地域住民の方々への感謝の気持ちが胸に込み上げてきます。

この歳になって改めて実感するのは、「人」を成長させるのもまた「人」であるということ。大学に入学し、多くの人と接する機会を持ちました。私とは異なる地、異なる環境、異なる人と接して育ってきた方との交流はとても刺激的なものでした。私とは違う、各々のさまざまな考えや価値観に触れることは、興味深く新鮮で感心させられることばかりです。その人との交流を通して感じとった、

他者のすばらしいところ、尊敬できるところを、自らに吸収して成長していきたいと感じます。そして、私自身も周りによりき刺激、影響を与えられる存在でありたいと強く思います。

当然、自分自身、完璧な人間ではないので、欠点も少なからずあると思います。そこを謙虚に受け止める心が、自らを向上、成長させることに繋がるのだと思います。

また、よきところもだれしもが持っているはずだと思えます。そのよきところをつくっていくのは、周りの環境であり、人だと思つので、自らに携わってくれている人や環境を大切にしたいと感じます。

「人」が「人」をつくり、そのつくられた「人」がほかの人の人生に影響を与える。それだけ人の人生というのは大きなものだと思えます。

いつまでも、自分自身の行動に責任と誇りを持ち、何よりも感謝の気持ちを忘れずに生きていきたい。

「今、思えること」

私は今、丹後を離れ、他県の大学に通っています。丹後と距離をおいて気付いたことは、自分の故郷について無知なことが多かったということです。

京都府には、時代を感じさせるものも多くあり、この丹後にも丹後王国や羽衣伝説といった伝説に魅かれるようなさまざまな歴史があります。また地域の行事でも風習を大切にしていた文化的な伝統が数多くあります。丹後では当たり前のことでも、別の地域へ行くと習慣が全く違うこともあります。だから、自分の育った地域はしっかりと知識として残り大切に守っていく必要があると感じています。

京丹後市で生まれ育ち今の私があるのは、周りの人に温かくされ、時には厳しくされながら過ごしてきたからだと思います。このように人の支えがあったからこそここまでやってこれたことができたことと最近になって実感が



井上 加奈 さん
(久美浜町永留)

今は変化の時代です。言い換えると、変化できる時代です。そのことを考えながら、自分の可能性を信じ生きている幸せを感じながら、これからさらに成長したいと思えます。

文化・伝統の継承とさらなる発展に向け

京丹後市総合文化祭 初開催

京丹後市文化協会

50団体が作品や舞台を披露

京丹後市文化協会（久保幸司会長）が発足して初めてとなる「京丹後市総合文化祭」（同協会主催）が、三月十三日・十四日の二日間、京都府丹後文化会館（峰山町杉谷）で開催され、同協会所属団体による舞台芸能や作品展示に、約八百五十人が訪れました。

京丹後市文化協会は、昨年、各町の文化協会が一つとなり設立されました。同協会では、これまでに培われてきた地域での活動を継承しながら、より質の高い文化芸術活動を推進し、文化活動を通じた地域の振興や活性化を図ろうと取り組んでおられます。

初めての開催となった総合文化祭は、総合作品展（十三日・十四日）と舞台芸能祭（十四日）とで構成。総合作品展には十九団体から俳句や写真、書道など約三百点が出展され、舞台芸能

祭では二十九団体の約三百人が、琴や歌、民謡を披露されました。また、初開催を記念して、本市出身ピアニスト、安達朋博さんの公演も開催され、さまざまな作品・舞台に、たくさんのかたが魅了されました。

久保会長は舞台芸能祭で「今後もさまざまな団体と一緒に新たな取り組みも行いたいので、みなさんも地域のさまざまな文化にたずさわり、ご活動いただきました」とあいさつされました。（二部を写真でご紹介します）



扇舞（神心流尚道館）



M・S・A（峰山シンギング・アソシエーション）
稲岡 那津紀さん



日本舞踊（花柳流桜風会）



箏演奏（箏曲菊謡会）



社交ダンス（みやび会）



総合作品展（丹後文化会館）



総合作品展（峰山地域公民館）

本市出身のピアニスト

安達朋博さんを招き

記念公演



安達朋博さん



ショパンの「幻想即興曲」や「舟歌」など見事な演奏で観客を魅了。安達さんは公演終了後、「地元のお客さんが温かく迎えてくれて感謝しています。多くのかたにクラシックに触れていただくと同時に、さまざまな文化や芸術が地域に根付き、発展していくきっかけになってほしいです」と、総合文化祭や記念公演への思いを話されました。

安達 朋博さん（略歴）

1983年生まれ、京丹後市出身。

網野高等学校卒業後、単身クロアチアへ渡り、以来、現在最も注目されている若手ピアニストの一人。

イーノ・ミルコヴィッチ音楽院を経て、2007年にクロアチア国立ザグレブ大学音楽アカデミーを最優秀で卒業。ヨーロッパ各地のコンクールで入賞・受賞されています。

日本では、2007年の大阪いずみホール・横浜みなとみらいホールでのリサイタルと、東京文化会館でのザグレブ弦楽四重奏団との共演で正式デビューされています。



琴・尺八・笛（丹後邦楽同好会）



新民踊（黒部栄仙会）



剣舞（大宮町剣舞会）



太極拳（峰山太極拳教室）



仕舞（藤村好謡会）



フォークダンス（丹後フォークダンス）



和太鼓（久美浜子供太鼓あまべっこ）



詩吟・扇舞（弥栄詩吟・扇舞の会）



▲次走者へ手渡すタスキリレー



ひよこのコスチュームも登場▶

各部門 1 位のチーム名

【男子】

一般	福知山自衛隊 A	1時間14分29秒
高校	久御山高等学校 A	1時間13分45秒
中学	網野中学校	44分17秒

【女子】
一般・高校 綾部高等学校…40分20秒
中学 蜂ヶ岡中学校……………40分38秒

今年で五十四年目を迎えた同大会は、地域のかたに親しまれ歴史ある大会として定着しています。

今年からコースを与謝野町から丹後あじわいの郷へ移し、男子は一般・高校校Ⅱ 23・3_キ（二チーム五人）、中学校Ⅱ 13・1_キ（二チーム四人）、女子の一般・高校・中学のいずれも 11・

9^キ（二チーム四人）の五部門でタイムを競いました。

大会には全国女子駅伝や全国中学校女子駅伝に出場されたトップクラスの選手も出場。ユニークなコスチュームで参加される選手のかたや、自己ベストをめざす選手のかたの懸命に走る姿に、沿道からは応援のかけ声とともに、温かい励ましの拍手が送られました。

熱き思いがタスキをつなぐ
北丹地方駅伝競走大会

春の日ざしがまぶしい三月十四日、北丹地方駅伝競走大会（北丹陸上競技協会主催ほか・太田勲会長）が、丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）をスタート・ゴールとする周回コースで開催され、府内から五十一チームが一本のタスキをゴールまでつなぎました。

京丹後で
初開催

京丹後の魅力を伝える

ホッと丹後 友の会
丹後ツアー 開催



堀川商店街（京都市上京区）で丹後の特産品や魅力を発信している、京丹後市の特産品ショップ「ホッと丹後」をご利用いただいている「ホッと丹後友の会」の会員さんを対象に、京丹後の魅力にじかに触れていただく機会の創出ならびに京丹後ファン獲得のため、三月二十日、丹後ツアーを開催しました。

市では、平成十九年七月、京都市上京区に丹後特産品ショップ「ホツと丹後」(財)丹後地域地場産業振興センタ―運営)を開店し、より多くのかたに丹後の魅力を知っていただけるよう努めています。

丹後の観光PR、イベント開催などによる情報発信のほか、京丹後ブランド製品の紹介や販売を実施し、同店を



藤績み（ふじうみ）を体験

拠点としたサテライト販売（本体から離れての販売）のほか、一次産品生産者や京都市内のNPOとの協力による、生鮮野菜販売なども行っています。

んにより京丹後を好きになっていった。けるよう、平成二十年一月、「ホツと丹後友の会」を発足させ、約二年で会員数は千六百人を突破。さらなる京丹



漁港を見学

青年海外協力隊
平成21年度4次隊

小谷 裕子さん（丹後町出身）

独立行政法人国際協力機構（JICA）が行う「青年海外協力隊」平成21年度4次隊として、3月23日からケニアのナイバシャに配属中の小谷裕子さん（丹後町）が、派遣を間近に控えた3月18日、市役所へ来庁されました。



ケニアへの派遣を前に、
力強く抱負を語る小谷裕子さん

魅力発信

後ファンの獲得をめざしています。

今回のツアーは、誘客事業として（財）丹後地域地場産業振興センターの主催で開催されました。昨年のツアーは二十人程度の募集でしたが、たくさんのかたからの要望を受け、五十人規模に拡大して友の会会員を対象に参加を募り、約百件の応募があつた中、先着順で参加者を決定。丹後出身で京都市内に嫁いだかたや、初めて丹後に訪れるかたなど四十九人が参加されました。

早朝ホツと丹後を出発した参加者のみなさんは、本市到着後、下岡公会堂（網野町下岡）で、藤の繊維をよりあわせてつなぎ一本の長い糸をつくる「藤績み（ふじうみ）」を体験。木の布工房遊絲舎（ゆうししゃ）の小石原将夫代表の指導のもと、試行錯誤しながら作業に取り組みました。

体験されたかたは「若いころ織物関係の仕事をしていたので、とても興味を持って体験できた」と楽しそうに話してくれました。

また、午後からは丹後町に移動し、温泉に入浴してゆったりとした時間を過ごした後、間人漁港でこの日今期最終日となるカニのセリなどを見学。日帰りの短いツアーながらも、京丹後の魅力を味わっていただきました。

小谷さんは現在、ケニアの国立公園における野生生物の保護や施設の維持管理を目的とした政府機関「ケニア野生生物公社研修所」に配属されています。同公社では、アジアからの観光客誘致を促進しようと、ツアーガイドなど観光業界で活躍する人材を育成するため、現地のかたが受講する研修を実施しており、小谷さんはそこで日本語の授業を担当されています。

小谷さんは、大学で日本語教育について学び、卒業後はエクアドルやメキシコの大学で約三年間、日本語教育に従事。そこでの経験から、「日本語を教えることは、言葉だけではなく、文化や習慣、人の考え方など、全部含めて日本という国を紹介すること。外国の人に日本を知ってもらい、興味を持ってもらったり好きになってもらうたい」と考えるようになり、今回、国際貢献活動に参加されることを決意されました。

配属期間は、三月二十三日からの二年間。派遣を間近に控えた小谷さんは「ケニアでどんな学生に会えるのか楽しみ。京丹後市ともつながりを持って何かしてみたい。また、たくさんの方に日本を好きになって欲しいので、そのための工夫もしてがんばりたい」と、笑顔で力強く抱負を話されました。

【農林水産業者】

特産地の育成、新分野の開拓などに多大の功労があり、他の模範となったかたがた

越江 雅夫さん
(株エチエ農産代表取締役)
(久美浜町女布)

畑作では葉タバコと契約栽培に取り組み、丹後国営開発農地の経営体系を定着させるとともに、水稻では作業受託を積極的に行い大規模農業を展開し、優れた経営感覚で地域農業の牽引役を務められるなど、農業の振興と発展に貢献されました。

田中 郁子さん
(JA京都野菜部会女性部大宮町支部長)
(大宮町善王寺)

旧大宮町で初めての女性農業委員として、女性の地位向上と後継者育成に尽力されるとともに、入耕女性の会会長、支部長として活動を牽引、JA 京都野菜部会女性部の役員も努められるなど、農業の振興と発展に貢献されました

田邊 榮志さん
(家畜人口授精師協会役員)
(弥栄町木橋)

多年にわたり、畜産技術者として畜産の生産指導に従事され、地域の畜産業の発展、生産振興に尽力されるとともに、自らも肉用牛繁殖経営を行い、肉用牛改良にも積極的に取り組まれるなど、畜産業の振興と発展に貢献されました。

米田 春美さん
(京丹後市農業委員会)
(丹後町徳光)

京丹後市では数少ない女性農業委員の一人として農家女性の地位向上に尽力するとともに、女性グループのリーダーとして規格外のモモや丹後米を活用した商品開発などにより農家経営の安定に努められるなど、農業の振興と発展に貢献されました。



野間地区を中心に、市内の至る所でご活躍いただきました

緑のふるさと協力隊 伊藤 拓さん 一年間の思い出振り返る

緑の協力隊として一年間の活動を終える伊藤拓さんが、3月4日、市へ一年間のお礼に来庁。また、3月6日には、都市農村交流施設「もんやこ」(弥栄町野間)でお世話になった地域のかたへの活動報告会が行われました。

市では、過疎化、高齢化による人口の減少に歯止めをかけたいという思いから、NPO法人地球緑化センター(東京都)の「緑のふるさと協力隊事業」を活用しています。

伊藤さんには、昨年四月から弥栄町野間地区に居住してもらい同地区を拠点に農作業や地域活動(村祭り、文化祭など)、各地域での森林整備(植樹作業など)などを通じて地域の活性化に取り組んでいただきました。

三月四日、市役所へ来庁された伊藤さんは「自然を利用した有機農業を学ぶと、今の食生活のいびつさを感じました。また、農家で家族のつながりを感じました。今、都市部にはないものが田舎にあると思います」と話され、都市部の若者の目線で見えた京丹後市についての率直な意見、感想を話されました。

同月六日には「もんやこ」に約三十人が集まり、伊藤さんが一年間の体験活動など映像を交えながら説明。その中で、四月からあと一年間、有機農業を学びながら地域の活性化につながる活動を行いたいと決意されました。

「夢は、丹後での生活や経験のもとに、『生涯学習Ⅱ農』を大学で研究し、海外での農村支援を行えればと思う。丹後で過ごすあと一年をしっかり活動したい。今後とも地域住民の一人としてよろしく願います」と夢を語っていただきました。

平成 21 年度 農林水産業功労者表彰

多年にわたり
府内の農林水産業および農山漁村の振興と発展に
功績のあったかたがたや団体について表彰されました

【団体】

事業の運営が特に優良で、活動を通じて農山漁村づくりに顕著な功績があった団体

久美浜町施設園芸組合
(代表：和田 泰幸さん)
(久美浜町奥三谷)

ロックウールによる養液栽培でのトマト栽培に取り組み、糖度が高く優れた栽培技術を確立するとともに、共同出荷により京都市場で高い評価を得られるなど、その活動を通じ農業の振興と発展に貢献されました。

**JA京都丹後西利
加工契約野菜部会**
(代表：今井 一さん)
(弥栄町黒部)

漬物業者と一体となった原料野菜の生産により、丹後国営開発農地の営業推進と大規模野菜作農家の育成を図るとともに、水田地帯での野菜産地の拡大を図るなど、その活動を通じ農業の振興と発展に貢献されました。

社団法人京都府猟友会
久美浜支部猟友会
(代表：川井 芳雄さん)
(久美浜町大向)

京丹後市が実施する有害鳥獣捕獲事業に従事するとともに、京都府で初めて府外団体と協力し、イノシシ、シカの一斉捕獲による農作物などへの被害の軽減を図るなど、その活動を通じ農林業の振興と発展に貢献されました。

農事組合法人
日本海牧場
(代表：山崎 高雄さん)
(網野町生野内)

放牧や自給飼料生産などの地域資源活用による日本短角牛と黒毛和種の交雑種の一貫生産という先進的な取り組みを進めるとともに、地元産ブランド「京たんくろ和牛」を確立されるなど、その活動を通じ畜産業の振興と発展に貢献されました。

丹後米改良協会
(代表：岡田 實郎さん)
(峰山町二箇)

関係機関との強い連携のもと、生産農家への情報提供、技術指導、意志向上を推進し、丹後産コシヒカリの産地全体の栽培技術を向上させ、平成 19 年度から 3 年間連続、全国の米の食味ランキングで「特 A」評価を獲得し、丹後を良食味米の産地として確立されるなど、農業の振興と発展に貢献されました

【団体役員】

農林水産業関係団体の役員を務め、団体の発展と農林水産業の振興と発展など顕著な貢献をされたかた

堀江 均さん
(京地どり流通推進協議会会長)
(丹後町吉永)

多年にわたり、京地どり流通推進協議会の役員を務め、京地どりの生産振興と販売促進に尽力されるとともに、丹後地域のプロイラー産業と農家の育成、生産振興など、団体の発展と畜産業の振興・発展に貢献されました。

丹後震災記念展 当時の被災状況を 今に伝える

震災を通じて得た教訓を風化させず、防災について今一度考えていただく機会として、3月5日から3月7日（震災記念日）まで丹後震災記念館（峰山町室）を会場に、丹後震災記念展を開催しました。



写真パネルでは、地震の二次災害である火災が原因で焼け野原になった地域の状況を表示

今から八十三年前の昭和二年（一九二七年）三月七日、午後六時二十七分、網野町郷付近を震源としたマグニチュード七・三（震度六相当）の北丹後地震（丹後震災）が発生しました。被害は、丹後一円におよび、二千九百九十二人（奥丹後震災誌より）のかたがお亡くなりになりました。

「丹後震災記念展」は昭和四十七年にはじまり、今年で三十八回目を迎えました。地震の原因や各地域の被災状況資料、地震の発生時刻を指したまま止まっている柱時計など百点以上の資料を展示し、震災当時の状況を詳しく知っていただき、みなさんの防災意識をより高めていただくよう開催しています。

会場には、市内外から多くのかたが訪れ、当時の新聞記事や火災で焼け溶けた癒着銭などの展示品を感慨深く見られていました。

また、ショッピングセンター「マイン」前では、起震車による地震体験コーナーを設置。大規模地震の揺れを起震車で体感した買い物客に訪れたかたは、改めて地震の怖さを感じていた様子でした。

災害は、忘れたころにやってくると言われます。市では、災害に強いまちづくりをめざし防災訓練などに取り組んでいます。みなさんも日ごろから防災に対する備えを心がけましょう。



起震車で地震の揺れを体験（丹後こども園）
（左・尾瀬貴子さん）

一日女性消防官の委嘱は、「春季全国火災予防運動週間」の取り組みの一環として毎年実施。例年、一般の

火災予防活動の一環として市消防本部では三月五日、丹後町の社会福祉施設に勤務されている尾瀬貴子さんを、峰山消防署竹野川分遣所の「一日分遣所長」に委嘱し、事業所への特別査察や起震車による地震体験教室など、さまざまな防火啓発活動を実施しました。

地震や火災への注意を呼びかけ 一日分遣所長を委嘱 京丹後市 消防本部

消防官に委嘱し、ご活動いただいています。今年初めて「竹野川分遣所長」として防火啓発活動に取り組んでいただきました。

当日は、防火管理体制をはじめ、自動火災報知設備などの消防用設備が的確に作動するかどうかを確認する「特別査察」を丹後町内の事業で行ったほか、ゆうゆう作業所（丹後町大山）や丹後こども園（丹後町間人）で、起震車による地震体験教室を実施し、尾瀬さんが同行。起震車への誘導補助などを通じて、防災意識の高揚などを呼びかけました。

尾瀬さんは「発災時には、自分を守ることで精いっぱい。高齢者のかたなどを守るためには、火災や地震を想定し、日ごろから、いざというときのための準備をしておくことの重要性を感じました」と、一日を振り返り感想をお話いただきました。

丹後の 自然・風景・農業農村の暮らし 第9回 丹後「農業・農村」写真コンクール を記録

京都府土地改良事業団団体連合会 丹後支部



銀賞 「田植えの体験学習」
岸村 守 さん（峰山町杉谷）



銅賞 「新緑の丹後」
永井 良一 さん（福知山市）



金賞 「優しい手」
坪倉 義英 さん（弥栄町鳥取）

丹後地域の自然、風景、農業農村の暮らしを記録し、農業・農村の大切さを一般に広くPRすることを 目的に、「第九回丹後「農業・農村」写真コンクール」（京都府土地改良事業団体連合会丹後支部主催）が実施されました。市内外から三十一作品が応募され、金賞・銀賞・銅賞に各一点、入選に五点が選ばれました。



入選 「初体験」
谷口 巖 さん（久美浜町永留）



入選 「秋の色」
荻野 博 さん（峰山町荒山）



入選 「大きな大根だよー」
吉岡 功光 さん（弥栄町木橋）

第9回「農業農村」写真コンクール 概要
テーマ「京丹後市の農業・農村」
農業の営み、農業者の姿、農村の暮らし、農村風景、農村の祭、農業水利施設など、日常の身近な写真。（ただし、京丹後市内で平成21年1月以降に撮影されたもの）

募集期間
平成21年6月1日～12月25日



入選 「モミ乾す老女」
笠次 進 さん（峰山町鱒留）



入選 「田植えのころ」
白木 勇治 さん（福知山市）

市民が望む「必要性の高い」KTRの利用促進策（回答者実数＝1,080人）

第1位	794人	鉄道とバスの乗り継ぎを良くする
第2位	688人	駅舎のバリアフリー化を進め、高齢者や障害者にやさしい鉄道とする
第3位	636人	高齢者の自動車運転免許の自主返納を進めるため、鉄道やバスの利用券を免許証返納時に配布するなどの特典を設ける
第4位	625人	鉄道とバスと宿（宿泊割り引きなど）の共通“格安チケット”を導入する
第5位	607人	朝の通勤・通学時間帯の車両の増設により、利便性を向上させる
第6位	567人	峰山駅の切符販売所を2階から1階（西口）に移す
第7位	561人	運賃を安くする
第8位	537人	徹底した安全輸送、快適輸送の向上を図る

未来（これから）
市民の声を活かして

では、鉄道がもっと身近で便利な乗り物となるよう昨年十二月から今年二月にかけて市民アンケートを実施しました。このアンケート結果などをもとに、将来のKTRのあるべき姿を、私たち市民自らも考えていくことが求められています。

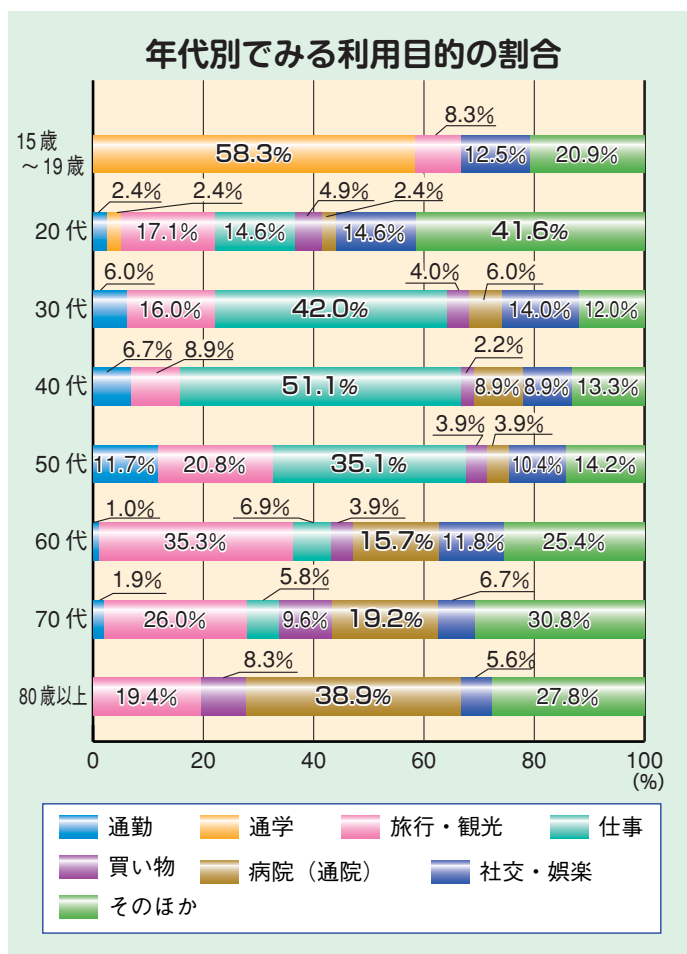
アンケート結果 7割が「バスとの乗り継ぎ改善を」

アンケートは、高校生以上の市民のみなさん3,200人（無作為抽出）に配布し、およそ4割（最大1,215人）のかたからご回答をいただきました。

要望の最も多かったものは、「鉄道とバスとの乗り継ぎを良くすること」で、7割を超えるかたから要望がありました。「鉄道とバスは競合相手ではなく、パートナーとして共存共栄していくべきだ」との声もいただきました。

高齢者のかたからは、「高齢者や身障者が公共交通を利用しやすい施策を（駅舎のバリアフリー化や自動車運転免許証の自主返納の促進）」との要望が強く、高校生からは「通学・通勤時間帯での車両の増設」を望む声が多い結果となりました。

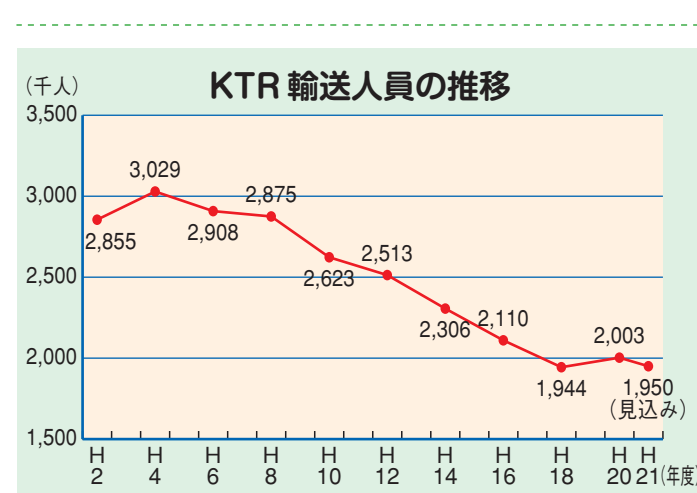
KTRが、市民にとって身近な乗り物になるためには、年代ごとの利用目的に沿った対策が必要であることもうかがえます。



開業20周年を迎えた北近畿タンゴ鉄道宮津線（峰山駅～丹後大宮駅間）〈写真は菅谷浩明さん（峰山町）提供〉

現在（いま）
伸び悩む輸送人員

平成二十年度のKTR全体の輸送人員は三年ぶりに二百万人の復活を果たしたものの、若手人材の育成に伴う人件費の増加や車両修繕費の支出により、経常損失は対前年比約二割増の六億九千四百万円に。さらに、平成二十一年度は、新型インフルエンザ、ETC割引、冷夏、経済不況などの影響により、十二月までの定期以外の利用者数は一割減となっています。



KTRの現状はたいへん厳しい経営状況にあります。

KTRの過去と現在と未来

懐かしの写真も大募集 皆さんの「KTRへの想い」をお寄せください

市では、市民みんなで、KTRのこれまでの軌跡を振り返るとともに、現状を見つめることで、今後のKTRの姿について考える機会となる紙面づくりをしたいと考えています。次号から、みなさんからお寄せいただいた声などをご紹介させていただくために、みなさんの「KTRへの熱い想い」をぜひ、お寄せください。また、KTRの昔懐かしい写真、車内の楽しい写真なども随時、募集しています。

【お問い合わせ先】 京丹後市役所企画総務部企画政策課
☎ 69-0120 / FAX 69-0901
Eメールアドレス kikaku@city.kyotango.lg.jp



KTR開業記念発車式典（平成2年）／甲山駅の様子

このように、廃線の危機を地域で乗り越え、存続させたのが、マイレール「KTR」です。

きな役割があること
③ 地域振興や活性化のためにも鉄道の存続が必要であること
④ 日本海沿岸の地域連携のためにも鉄道網が不可欠であること

▼第三セクター方式の鉄道として存続の方向が決められた背景・理由
① 沿線住民の通勤、通学、通院などの日常生活に欠くことができないこと
② 北近畿と京阪神以遠とを結ぶ大量輸送交通機関としての大

昭 和五十五年、国鉄再建法が成立し、全国各地で鉄道の存廃が問題となりました。そのような中で、府北部の鉄道については、近畿運輸局や京都府、兵庫県をはじめ沿線三市十町が「宮津線特定地方交通線対策協議会」を結成。「この鉄道は、地域住民の日常生活や経済活動などを推進する上で、不可欠な公共交通機関」として、経営の厳しさが予想されたものの、第三セクター方式でその運営を続けることを全会一致で承認。「宮福鉄道株」が誕生しました。その後、平成二年四月一日からは、京都府、兵庫県、関係市町に加え民間企業や民間団体が増資し、社名を現在の「北近畿タンゴ鉄道株（KTR）」と改め、「宮福線」と「宮津線」を運行する第三セクターとして新しく出発しました。

過去（これまで）
「マイレール意識」で
廃線危機を乗り越える

私が「事業計画の策定支援」というお仕事を頂戴して、いろいろな事業者さんと一緒に事業計画をつくった直後、たいてい申し上げるひと言は「ここからがスタートですよ」という言葉。事業計画書をつくるのは骨が折れることも多く、担当者さんとはすると「事業計画書をつくるのがゴールである」と勘違いしそうになっていることがあります。しかし、計画はあくまでも計画であって、実行を伴わなければつくった意味があ

これまで約一年にわたり、儲けるためのヒントや事業計画書のつくり方をお伝えしてまいりました。そして今回がその最終回。最後にあたり、どうしてもみなさんにお伝えしておきたいことがあります。それは、「計画は実行するためにある」ということです。

みなさんこんにちは！誌上経営セミナー担当の吉田俊也です。

「計画とは、
『達成すべきもの』である」

事業者のみなさんを支援します 誌上経営セミナー 最終回

講師・吉田俊也さん

りません。今後どのように事業を進めていくか、を明確化したものが事業計画であり、そこには「やりたいこと」「やるべきこと」も満載のはずです。つまり、事業計画をつくるというのはあくまでもスタートラインに立つために必要な事柄であって、決してゴールではないのです。ただ、少し矛盾するようなことを申し上げますが、精度の高い事業計画が出来上がったときに、「これで目標達成できたも同然だ」という気持ちで芽生えることもまた事実です。それは、これから歩むべき道筋が明確になったことによつて、目の前が明るくなったような感覚を覚えるからです。これは決して悪いことではなく、むしろこのような感覚を覚えるのは「経営課題がはつきりして、対応策もはつきりした」効果によるものとして歓迎すべきことと考えています。逆に、事業計画が完成したときの感想として「あーつかれた」といった疲労感や、「これからこれを実行するなんて嫌だなあ」といった後ろ向きな想いを持つてしまうのは、事業計画の完成度が十分ではないことを意味していると言っているでしょう。完成度が十分でない、とい

うのを別の言葉で言えば「腑に落ちた計画になっていない」ということです。私はよく「自分たちの計画ですから自分たちでつくりましょうね。他人から押しつけられた計画なんてやる気になりませんから」と申し上げますが、もし他人から計画を押しつけられたとすれば、その計画を読んだときに難癖のつも付けたりするものではないでしょうか。計画の完成を喜び、その実行が楽しみになるくらいの計画をつくるためには、「目標を明確にする」「自分を含め、関係者全員でつくり上げる」「具体的なものをつくる」ことが何よりも大切です。人類が月面に着陸するという、とてもないことを夢描いた計画、「アポロ計画」について、連載第七回に書かせていただきました。アポロ計画が実現できた理由は様々あると思いますが、私はその要因を「明確な目標の存在」「明確な意思の存在」「正確な現在地の把握」「行動計画の具体性」「軌道修正の仕組みの存在」という五つだと考えています。そしてこの五つの要素こそ、事業計画に必要な不可欠な要素である、と言っていると思います。

「誌上経営セミナー」は今回が最終回です。みなさんいかがでしたでしょうか。この連載が少しでもみなさんの事業のお役に立てれば、大変うれしく思います。なお、連載終了を記念し、全12回分をまとめた冊子をご希望のかたにお渡しします。希望されまかたは、産業雇用総合振興課（網野庁舎）へお越しいただくか、電話・FAX・電子メールにてお申込みください。

☎69-0470 / FAX.72-2030
メール sangyo@city.kyotango.lg.jp
(お名前・送り先をお忘れなく)



困難の多い経営を導く羅針盤として、きつとみなさんのお役に立つことと思います。ぜひともみなさんご自身の事業でも「わくわくするような計画」をつくってください。そしてそれを実行し、必ずや達成しましょう。みなさんの今後の経営がたくさんの幸せを生むことを心より願って、この連載を閉じることいたします。長らくのお付き合い、本当にありがとうございました。

京都府のひろば

平成 20 年 9 月号から、京都府で取り組まれています市民生活にかかわる事業などについてご紹介しています。

海外旅行に必要な旅券（パスポート） 丹後広域振興局 旅券窓口で お手続き いただけます



丹後広域振興局旅券窓口（庁舎 1 階）

丹後地域に在住のみなさんが海外旅行の際に必要な旅券いわゆる「パスポート」は、京都府丹後広域振興局一階にある、旅券申請窓口で申請手続きを行っています。窓口で申請されてから、パスポートをお渡しできるまでには、六日間（土・日・祝日を含まず、平日で六日）が必要となりますので、海外旅行出発予定日からこの期間を考慮し、余裕を持って申請をお願いします。

▶▶ パスポート申請に必要な書類

① 申請書（正式には、一般旅券発給申請書）… 1 通

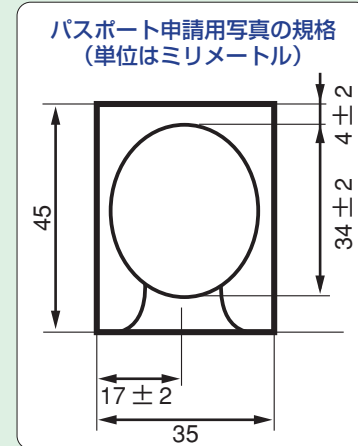
- ▶ 広域振興局、市役所などで配布しています。
- ▶ 小学生以上は申請者本人がご記入ください。

② 戸籍抄（謄）本（6 か月以内に発行されたもの）… 1 通

- ▶ 有効期限内の旅券をお持ちのかたで、氏名と本籍地の都道府県に変更のないかたは不要です。
- ▶ 同一戸籍のかたが同時に申請する場合は、戸籍謄本 1 通。

③ 写真（6 か月以内に撮影されたもの）… 1 枚

- ▶ 無背景、縁なし、正面を向き無帽
- ▶ サイズなどが規格に合わない場合や、髪の毛やめがねフレームなどが目にかかっているなど、本人確認が困難な写真は、申請を受理できません。



④ 本人が確認できる以下の書類（原本、コピー不可）

- ▶ 1 つでよいもの
有効な旅券、運転免許証など
- ▶ 2 つ必要なもの
健康保険証、介護保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証、年金手帳・証書、学生証、母子手帳など

※有効期限が満了したパスポートをお持ちのかたは、ご持参ください。
※京都府内に住民登録があるかたは、「住民基本台帳ネットワークシステム」により、原則、住民票の提出が不要となります。

▶▶ パスポートの受け取り

● 手数料（印紙と証紙）が必要となります

- ▶ 10 年旅券（20 歳以上）… 印紙 14,000 円 証紙 2,000 円
※ 20 歳以上のかたは、有効期限を 5 年または 10 年のいずれかを選択できます。
- ▶ 5 年旅券（12 歳以上）… 印紙 9,000 円 証紙 2,000 円
- ▶ 5 年旅券（12 歳未満）… 印紙 4,000 円 証紙 2,000 円

● 受け取りは、ご本人に限ります

パスポートの受け取りは、京都府丹後広域振興局または京都府旅券事務所（京都駅ビル 8 階）のいずれかを選択いただけます。ただし、申請書受理後の変更はできません。

● 受け付け・受け取り業務時間

- ▶ 月曜日～金曜日 9:00～16:30
- ▶ 土・日・祝休日・年末年始（12/29～1/3）はお休みです。

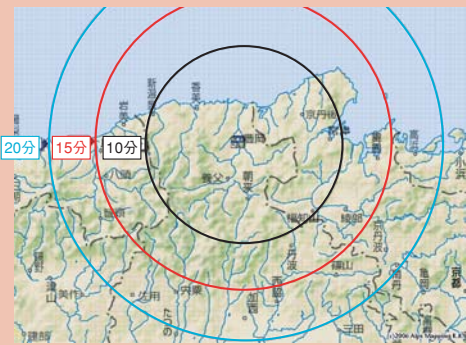
※パスポートは、渡航者が日本国民であることを日本政府が証明し、安全に旅行できるよう、必要なときは相手国に対して保護・扶助を要請するための重要な公文書です。大切に保管してください。

※詳しくは、電話でお問い合わせいただくか、京都府のホームページ（<http://www.pref.kyoto.jp/passport/>）をご覧ください。
※お問い合わせ先 丹後広域振興局総務室（☎ 69-2080）

ドクターヘリ運航開始

今年度から、公立豊岡病院を拠点とするドクターヘリシステムがスタートします。ドクターヘリの利点としては、「医師が現場ですぐに治療を開始できる」、「高次医療施設への直送が可能」などがあげられます。

ドクターヘリは、日中のみの運航で天候によっては飛べないなどの利用条件が決められています。また、京都府北部、兵庫県北部、鳥取県東部を一機でカバーするため、常に利用できるとは限りません。



ドクターヘリの運航時間の目安

救急件数は二千八百七十七件で、前年から十四件増加し、三年ぶりにわずかに増加しました。

事故種別では、「急病」が千三百七十三件（前年比八十件増）と全体の約六割を占め、「一般負傷」二百九十件、「交通事故」二百五十八件と続きます。搬送人員は二千八十六人（前年比四十一人増）で、峰山消防署（本署）

急病が約六割



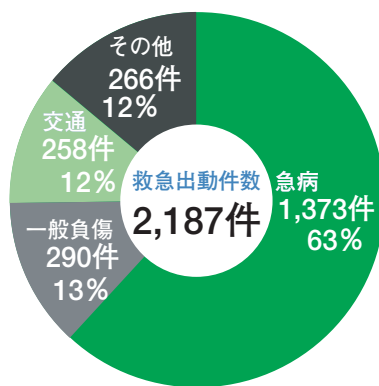
【救急】

2,187件

がその半数近くの九百四十七人、網野分署が五百十二人、久美浜分署が三百七十四人、竹野川分遣所が二百五十三人と続きます。

傷病程度別で見ると、死亡八十四人、重症二百二十二人、中等症百十二人、軽症など九百六十八人でした。搬送人員に対する軽症などの割合は四六・四割になります。

救急出動件数割合



消防統計 2009

「安全で安心して暮らせるまち」にむけて



消防長
坪倉 護

当市では、昨年火災による死者はありませんでしたが、全国的には多くのかたが亡くなっています。特に住宅火災では、死者の6割のかたが逃げ遅れによって亡くなっていることから、逃げ遅れをなくすために、火災の発生をいち早く知らせる住宅用火災警報器の設置推進を行っています。

今後も「安全で安心して暮らせるまち」に向けて消防本部職員が一丸となって取り組んでまいりますので、昨年にも増してご支援ご協力をよろしくお願いします。

三年連続減少



【火災】

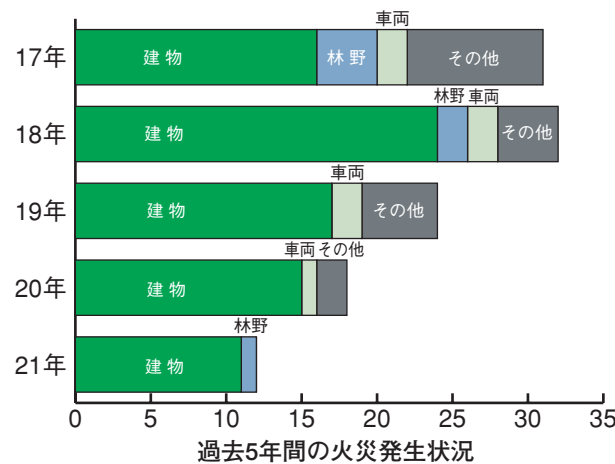
12件

火災件数は十二件発生し、前年に比べ六件減りました。種別で見ると、建物が一十一件、林野が一件となっています。火災による負傷者は二人発生しましたが、死者はありませんでした。

前年に比べ、建物火災は四件減少しているものの、一件当たりの損害額が大きく、結果として倍増しました。原因別では、たばこ、焼却炉、たき火が各二件、その他の原因によるものが六件でした。

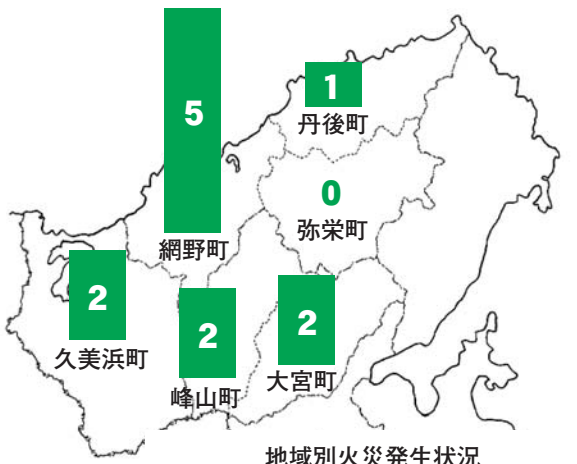
一人ひとりの防火意識を高め、火の元の不注意や不始末をなくすことが火災予防につながります。

また、住宅で火災が起こった際に



過去5年間の火災発生状況

いち早く知らせてくれるのが住宅用火災警報器です。火災による死傷者を減らすためにも、一日も早い設置をお願いします。



地域別火災発生状況

119番の適正な利用



【通信】

3,406件

指令室で取り扱った災害などの総受信数は三千四百六十六件で、前年に比べ百七十七件減少しました。

携帯電話などからの通報は全体の約一八割を占め、前年に比べ六十四件増加し、年々増え続けています。いたずら・間違い・不明・問い合わせは全体の約二四割を占めています。市民のみなさんの適正な利用が、いち早い災害への対応につながります。

まとめ

平成二十一年を振り返ると、火災・救助ともに減少しました。これは日ごろからの市民のみなさんの「安心・安全」への取り組みの結果です。

近年の多様化する災害は、いつでもどこで起こるのかわかりません。住宅用火災警報器の設置をはじめ、災害を未然に防止する環境づくりが心掛けましょう。



AEDJUNSN

市民のみなさん、「AED」という言葉を存じですか。

「AED」とは日本語で「自動体外式除細動器」といいます。心臓が動きを停止してしまうと、二分ごとに約七・一〇割ずつ救命率が下がるといわれています。

京丹後市では119番通報してから、救急車が現場到着するまでに平均八分三十秒程かかります。このことから、心肺停止をしているかたを発見した場合、現場に居合わせた



救急救命士
坂本 竜 児

かたには、いち早く胸骨圧迫と「AED」の準備を行っていただきたいです。

現在京丹後市では、保健所や各市民局・各高等学校に一台ずつ、小・中学校に合計十四台が設置されており、今後すべての小・中学校に「AED」が設置される予定です。

「AED」はだれでも使えますが、より確実な応急手当を身に付けるため、救命の第一歩である救急講習会にご参加いただくようお願いいたします。

住宅用火災警報器などに関するお問い合わせは、京丹後市消防本部予防課（☎0772-62-5119）または、最寄りの消防署まで。京丹後市消防本部ホームページもご覧ください。 <http://www.city.kyotango.lg.jp/kcfd/>

※既に建っている住宅への住宅用火災警報器の設置義務期限です。新しい建物については既に設置義務があります。

職員配置表

4 月 1 日付けで職員の配置換えを行いましたので、お知らせします。
掲載は異動者のみとしています。()内は異動前の所属を表しています。
※なお、新規採用した職員のうち、平成22年 3 月 1 日現在で「採用に必要な資格を取得見込みであった者」などの一部の職員配置については、本紙 5 月号に掲載します。

※役職は、係長以上を付記、○は昇任

建設部	理事○ 川口 勝彦 (建設部管理課) 〈管理課長兼務〉
	参事 三田 大輔 (新規採用)
	管理課 課長補佐 葛原 睦民 (管財・収納課) 大下順太郎 (農林整備課) 田中屋敷和之 (社会教育課) 今井 克明 (新規採用)
	土木課 課長 川戸 孝和 (都市計画・建築住宅課) 課長補佐○ 大木 保人 (土木課) 田畑 好弘 (新規採用)
都市計画 ・建築住宅課	課長 小石原康夫 (入札契約課) 課長補佐○ 坪倉 良樹 (都市計画・建築住宅課) 井上 浩一 (企画政策課) 矢野 聡宏 (新規採用)
上下水道部 部長○ 中西 悦男 (行財政改革推進課)	
普及推進・料金課	嶋田 圭悟 (税務課)
水道整備課	課長○ 辻 修平 (土木課) 小林 宏美 (市民課)
下水道整備課	課長 小石原吉雄 (海業水産課) 課長補佐○ 下田 浩二 (海業水産課) 課長補佐 小林 泰嘉 (弥栄市民局) 河嶋 英一 (大宮市民局) 西口 紀行 (都市計画・建築住宅課) 野木 健志 (新規採用)
会計管理者	会計管理者 和田 道雄 (市民部長)
会計課	課長補佐 高田義一郎 (産業雇用総合振興課) 小西智恵子 (人事課)
教育委員会事務局 教育次長○ 吉岡喜代和 (子ども未来課)	
教育総務課	課長 糸井 嘉彦 (長寿福祉課) 課長補佐 味田 伸一 (健康推進課)
学校教育課	課長 藤村 信行 (企画政策課) 課長補佐 山根 直樹 (人事課) 服部 智昭 (長寿福祉課) 古橋 大志 (新規採用)
社会教育課	課長補佐○ 吉田 茂夫 (弥栄地域公民館) 峰山地域公民館 椋平 哲朗 (網野地域公民館) 大宮地域公民館 中村 孝幸 (峰山地域公民館) 網野地域公民館 水口 規宏 (大宮地域公民館) 丹後地域公民館 溝尻 美穂 (社会教育課) 弥栄地域公民館 大槻 秀明 (税務課) 久美浜地域公民館 永井 千裕 (企画総務部総務課)
監査委員事務局	
	田中 光男 (商工振興課)
農業委員会事務局	事務局長 引野 都夫 (水道整備課) 高倉 遼 (新規採用)
消防本部 消防長 坪倉 護 (上下水道部長)	
総務課	課長補佐 松本 隆雄 (峰山市民局) 徳田新之助 (新規採用) 荻野 日翼 (新規採用)

久美浜病院事務部	
管理課	課長○ 岸本 繁之 (久美浜病院事務部管理課) 課長補佐○ 西山 真澄 (医療政策課)
健康長寿福祉部	
生活福祉課	課長 中村 悦雄 (商工振興課) 主幹○ 河島 守男 (企画政策課) 岩田 和美 (久美浜市民局) 岸田 豊広 (農業委員会事務局) 小林 英樹 (観光振興課)
障害者福祉課	課長 太田 弘保 (大宮市民局) 吉田 千春 (長寿福祉課) 川浪周一郎 (海業水産課)
長寿福祉課	課長 大久保 亨 (障害者福祉課) 〈百歳健康長寿推進チーム長兼務〉 廣嶋恵津子 (学校教育課) 坂戸 留美 (健康推進課) 松下 恵美 (健康推進課) 城下 智美 (障害者福祉課) 田中佐妃子 (健康推進課)
健康推進課	課長 末次 昭夫 (生活福祉課) 課長補佐 大木 利男 (下水道整備課) 小谷 要子 (障害者福祉課) 池部えり子 (長寿福祉課) 大澤 和子 (長寿福祉課)
保険事業課	松崎 良幸 (税務課) 広瀬 正二 (丹後市民局) 小坂 貴寛 (生活福祉課)
農林水産環境部	
農政課	主幹○ 小森 康弘 (農政課) 課長補佐 藤原 和子 (観光振興課) 田家 正弘 (普及推進・料金課) 谷口あゆみ (新規採用)
農林整備課	田家 学 (水道整備課) 寺田 周平 (新規採用)
海業水産課	課長 蒲田 保彦 (土木課) 小仲 圭一 (新規採用)
環境バイオマス推進課	課長補佐 戸石 善雅 (情報政策課)
商工観光部	部長 中村 基彦 (商工観光部長) 〈政策総括監兼務〉
	理事○ 新井 清宏 (産業雇用総合振興課) 〈産業雇用総合振興課長兼務・工業団地造成事業推進チーム長兼務〉
産業雇用総合振興課	蒲田 真穂 (保険事業課) 西木 勇互 (新規採用)
商工振興課	課長○ 吉岡 茂昭 (商工振興課) 課長補佐○ 増田 知裕 (産業雇用総合振興課) 北尻 光 (新規採用)
観光振興課	主幹○ 川口 誠彦 (企画政策課) 能勢 知生 (文化財保護課) 田崎 正浩 (新規採用)

行財政改革 推進課	課長○ 中西 和義 (行財政改革推進課) 〈京丹後市総合サービス(株)勤務を解く〉 課長補佐○ 河田 英雄 (税務課) 課長補佐 辻村 実 (行財政改革推進課) 〈京丹後市総合サービス(株)勤務〉
市民部 部長○ 石嶋 政博 (市民協働課)	
市民課	課長○ 野村 正彦 (市民課) 課長補佐 秦 祐康 (久美浜市民局) 岸本 裕子 (監査委員事務局) 引野 佳子 (保険事業課) 橋本 琢人 (新規採用)
市民協働課	課長 山副 隆司 (医療政策課)
子ども未来課	課長○ 平井 一弘 (子ども未来課) 課長補佐 福尾 昌信 (観光振興課) 〈京丹後市観光協会勤務を解く〉 高橋 典子 (長寿福祉課)
峰山市民局	局長補佐 平林 順一 (下水道整備課) 局長補佐○ 宮本 富夫 (税務課) 田中 繁生 (情報政策課)
大宮市民局	局長○ 中邑 正樹 (大宮市民局) 局長補佐 吉村 真 (入札契約課) 局長補佐 糸井 正彦 (農政課)
網野市民局	局長補佐○ 岸本 忍 (下水道整備課) 中地 尚津 (市民課)
弥栄市民局	局長 小出 光祐 (市民課) 局長補佐 森岡 芳信 (生活福祉課) 吉田 玉樹 (農政課) 藤田 美紀 (市民課)
久美浜市民局	局長補佐○ 松本 哲朗 (農林整備課) 吉谷 健也 (建設部管理課) 瀬戸真由美 (社会教育課)
医療部 部長 金久 和幸 (医療部長) 〈政策総括監兼務〉	
医療政策課	課長○ 梅田 純市 (医療政策課) 課長補佐○ 中島 茂樹 (学校教育課) 奥田 晋子 (医療部間人診療所) 〈間人診療所勤務〉 島田 香織 (社会教育課)
弥栄病院事務部	事務長○ 吉岡 正俊 (弥栄病院事務部管理課)
管理課	課長○ 蒲田 弘志 (弥栄病院事務部管理課) 田中 弘人 (弥栄市民局)

議会事務局	事務局長○ 田上 実 (企画総務部次長)
議会総務課	課長○ 中田 裕雄 (税務課)
市長直轄	
秘書広報聴課	課長○ 木村 嘉充 (企画政策課) 木本 貴文 (入札契約課)
企画総務部	次長○ 浜上喜久男 (議会総務課) 〈危機管理監兼務・企画政策課長兼務〉
企画政策課	課長補佐○ 竹内 昌明 (企画政策課) 村田 雅之 (保険事業課) 松本 隆明 (秘書広報聴課) 小森 剛志 (観光振興課) 嶋本 友美 (新規採用)
総務課	課長○ 中村 和幸 (企画総務部総務課) 主幹○ 岩崎 英史 (建設部管理課) 野村 弘 (久美浜市民局) 岡田 直純 (建設部管理課)
人事課	土田 正幸 (峰山市民局)
情報政策課	主幹○ 赤松 正伸 (消防本部総務課) 山崎 貴信 (新規採用)
財務部	部長○ 糸井 錦 (財政課)
財政課	課長○ 中西 俊彦 (財政課) 課長補佐○ 谷口 敏典 (生活福祉課)
管財・収納課	課長補佐 石田 雄一 (峰山市民局)
入札契約課	課長 芝野 和之 (下水道整備課) 課長補佐○ 安田 悦雄 (入札契約課) 戸根 浩一 (下水道整備課) 中村 正人 (税務課) 吉野 勝 (網野市民局)
税務課	課長補佐 瀬戸千賀子 (会計課) 課長補佐 山形 健一 (税務課) 〈京都地方税機構丹後地方事務所派遣〉 志田慎太郎 (会計課) 金木 泰憲 (企画総務部総務課) 小谷健太郎 (都市計画・建築住宅課) 吉田 亮平 (新規採用) 清水 和則 (税務課) 〈府自治振興課勤務を解く〉 〈京都地方税機構丹後地方事務所派遣〉 千賀 誠 (税務課) 〈京都地方税機構丹後地方事務所派遣〉

湊保育所		古村 佳子	（吉原保育所）
神野保育所	所長	岡田 茂子	（島津保育所）
田村保育所	所長○	尾崎 厚子	（こうりゅう保育所）
こうりゅう保育所	所長補佐○	松本 順子	（久美浜保育所）
		本田 直美	（大宮南保育所）
		永井 望香	（網野みなみ保育所）
		小井根直美	（神野保育所）
		松本亜紀子	（島津保育所）

弥栄病院			
	診療部	内科医長	吉岡 美香（新規採用）
		内科医師	宮村 有佳（新規採用）
	技術部	診療放射線技師長○	由良 宗男（弥栄病院技術部）
		臨床工学技士長○	藤原 彰弘（弥栄病院技術部）
		診療放射線技師	藤原 晋（新規採用）
久美浜病院			
	診療部	整形外科医長	吉岡 直樹（新規採用）
		歯科医長	足立 圭司（新規採用）
		外科医長	氏家 和人（新規採用）
		内科医師	坂根 慶弥（新規採用）
	看護部	看護師	戸出 敦子（新規採用）
		准看護師	上田 麻里（新規採用）
	技術部	作業療法士	西山 牧子（新規採用）
		作業療法士	谷 明奈（新規採用）

網野みなみ保育所		古川 広美	（丹波保育所）
浅茂川保育所		松尾 友佳	（網野保育所）
島津保育所	所長○	浜上 玉恵	（丹後保育所）
たちばな保育所	所長	深田 美和	（網野みなみ保育所）
		野村三重子	（長岡保育所）
		山口 美里	（こうりゅう保育所）
丹後保育所	所長補佐	梅田 英里	（新規採用）
		入江美智子	（丹後幼稚園）
		〈丹後幼稚園 副園長兼務〉	
		森本 晶子	（溝谷保育所）
宇川保育所	所長	田崎 沙弥	（新規採用）
		梅田千栄子	（五箇保育所）
		岡田 久子	（下宇川保育所）
		谷岡 朝子	（上宇川保育所）
和田野保育所	所長○	畑中 ゆみ	（下宇川保育所）
		坪倉 範子	（峰山保育所）
		下岡 洋子	（黒部保育所）
黒部保育所	所長○	近藤美佐枝	（島津保育所）
溝谷保育所	所長	田中とも子	（大宮南保育所）
		佐々木真由美	（下宇川保育所）
		徳田 美絵	（新山保育所）
		松本 清美	（長岡保育所）
溝谷保育所		田辺 久代	（黒部保育所）
久美浜保育所		奥田眞樹子	（たちばな保育所）
		神木 早苗	（たちばな保育所）

		竹野川分遣所		岩瀬 章二	（峰山消防署指令室）
				松本 努	（峰山消防署消防課）
				小谷 将貴	（峰山消防署消防課）
				木下 哲也	（久美浜分署）
				藪下 茂幸	（網野分署）
				吉岡 哲平	（峰山消防署消防課）

学校・給食センター		
学校・給食センター	峰山小学校	西川 充（宇川小学校）
	大宮第一小学校	藤原 緑（溝谷小学校）
		森本由美子（久美浜小学校）
		中川由美子（川上小学校）
	間人小学校	藤村由美子（鳥取小学校）
	峰山中学校	田丸 良子（弥栄中学校）
		佐々木博子（間人中学校）
		長砂 厚子（長岡小学校）
	大宮中学校	今井 昭子（黒部小学校）
		中西 博美（高龍中学校）
	間人中学校	小出 静子（吉原小学校）
	弥栄中学校	今西 佳子（吉原小学校）
梅田美由紀（新山小学校）		
久美浜中学校	田中可寿子（海部小学校）	
	西山 朝美（佐濃小学校）	
網野学校給食センター	小松 靖幸（湊保育所）	
幼稚園		
丹後幼稚園	副園長○ 入江美智子（丹後幼稚園） 〈丹後保育所 所長補佐兼務〉	

峰山保育所		高尾 智美	（丹後保育所）
吉原保育所		大木登志子	（河辺保育所）
五箇保育所	所長○	島貴 理美	（こうりゅう保育所）
長岡保育所	所長○	船戸 暢子	（網野みなみ保育所）
		藤本 和枝	（湊保育所）
新山保育所	所長○	石出 愛子	（長岡保育所）
		松本 徳子	（溝谷保育所）
		小西美也子	（五箇保育所）
口大野保育所	所長	山口 智子	（新規採用）
		引野 和美	（口大野保育所）
大宮南保育所	所長	糸井 博子	（田村保育所）
善王寺保育所	所長	平井 保子	（口大野保育所）
		西村久美子	（善王寺保育所）
		辻 明美	（吉原保育所）
		能勢さえ子	（鳥取保育所）
網野保育所	所長補佐○	若野 浩子	（善王寺保育所）
		堀 幸恵	（五箇小学校）
網野みなみ保育所	所長補佐○	高杉 弘子	（大宮南保育所）
		澤田理絵子	（丹後保育所）
		堀江 淳子	（浅茂川保育所）
		森田 信子	（浅茂川保育所）
		嶋田かおり	（新山保育所）
		大江 陽子	（新規採用）

消防本部			
警防課	課長○	山添 敏弘	（峰山消防署消防課）
		課長補佐○ 上田 一朗	（消防本部総務課）
峰山消防署	署長○	博文	（網野分署）
		和田 英樹	（消防本部総務課）
消防課	副署長○	奥田 直人	（峰山消防署消防課）
		吉田 件昨	（網野分署）
		〈峰山消防署消防課長兼務〉	
		課長補佐○ 中村 一隆	（峰山消防署消防課）
		課長補佐 安川 郁夫	（峰山消防署指令室）
		消防1係長 池田 弘幸	（消防本部総務課）
		救急1係長 小森 英志	（竹野川分遣所）
		予防1係長 中田 和之	（峰山消防署予防課）
		消防2係長 辻 正男	（久美浜分署）
		予防2係長 安田 直樹	（峰山消防署消防課）
		松本 欣也	（峰山消防署指令室）
		中村 猛	（網野分署）
		木下 夢大	（久美浜分署）
		堀江 哲平	（消防本部総務課）
		坂本 竜児	（竹野川分遣所）
		今井 大祐	（久美浜分署）
		舩越 昇	（竹野川分遣所）
		中村 真也	（消防本部総務課）
		篠村 直樹	（網野分署）
消防課（指令室）	課長補佐	横山 文明	（峰山消防署予防課）
		指令2係長 中西 則昭	（峰山消防署消防課）
		金久 昌和	（竹野川分遣所）
		山下 良之	（竹野川分遣所）
		堀江 正男	（峰山消防署消防課）
予防課	課長補佐	芦田 重行	（峰山消防署指令室）
		予防係長○ 廣野 克己	（峰山消防署予防課）
		梅田 雅弘	（峰山消防署指令室）
網野分署	分署長	末次 正博	（竹野川分遣所）
		副分署長 吉岡 昌俊	（久美浜分署）
		警備1係長○ 沖田 護	（網野分署）
		指田 竜	（竹野川分遣所）
		平井 信也	（峰山消防署予防課）
		平井 孝直	（竹野川分遣所）
		中西 直行	（久美浜分署）
		村野 二郎	（峰山消防署消防課）
		原 光海	（峰山消防署消防課）
久美浜分署	副分署長	吉岡日出圭	（網野分署）
		中山 晶夫	（網野分署）
		岩田 善雄	（竹野川分遣所）
		野村 和孝	（峰山消防署消防課）
		山本 篤生	（網野分署）
		矢谷 正利	（峰山消防署消防課）
		形山敬太郎	（峰山消防署消防課）
竹野川分遣所	分遣所長○	吉岡 浩	（峰山消防署消防課）
		警備1係長○ 永岡 晃	（峰山消防署消防課）
		警備2係長○ 川戸 一太	（峰山消防署消防課）

退職（3月31日付け）

矢野 節雄	（議世事務局 事務局長）
藤原 孝司	（財務部 部長）
高野 重隆	（会計管理者）
堂田 孝二	（消防本部 消防長）
水野 孝典	（教育委員会事務局 教育次長）
真下 肇	（久美浜病院診療部歯科部長）
藤原 晃史	（市長直轄理事兼秘書広報広聴課 課長）
尾崎 泰樹	（弥栄病院事務部事務長）
才本 茂	（消防本部峰山消防署 署長）
松梨 裕治	（市民部弥栄市民局 局長）
行待 清一	（久美浜病院事務部管理課 課長）
川口 富義	（健康長寿福祉部健康推進課 課長）
栗倉 小夜子	（教育委員会事務局教育総務課 課長）
増田 卓雄	（教育委員会事務局学校教育課 課長）
久岡 敏高	（農業委員会事務局 事務局長）
西垣 善太郎	（市民部市民課 主幹）
白杉 千春	（市民部大宮市民局 局長補佐）
柿本 仁	（建設部管理課 課長補佐）
数多 昌典	（教育委員会事務局教育総務課 課長補佐）
平林 正明	（市民部久美浜市民局 主査）
宮本 茂	（健康長寿福祉部生活福祉課）
松村 清美	（市民部弥栄市民局）
吉岡 恵美	（市民部弥栄市民局）
平林 清市	（市民部竹野川衛生センター）
安藤 政夫	（市民部網野最終処分場）
藤野 光磯	（峰山消防署久美浜分署）

永江 洋子	（五箇保育所 所長）
吉村 典子	（たちばな保育所 所長）
平林 かよ子	（和田野保育所 所長）
平井 ゆり	（黒部保育所 所長）
小牧 貞子	（溝谷保育所 所長）
井尻 照子	（神野保育所 所長）
古橋 千津子	（たちばな保育所）
土肥 都子	（こうりゅう保育所）
堺 うめの	（溝谷保育所）
池内 進	（峰山中学校）
大下 鉄司	（間人中学校）
網 澄子	（久美浜中学校）
田中 暁子	（丹波小学校）
田中 千江子	（豊栄小学校）
瀬戸 睦子	（神野小学校）
伊熊 庸一	（弥栄病院技術部 診療放射線技師長）
有田 茂春	（弥栄病院技術部 臨床工学技士長）
濱口 重人	（弥栄病院診療部 内科医長）
八幡 武司	（久美浜病院診療部 外科医長）
成田 渉	（久美浜病院診療部 整形外科医長）
徳田 こずえ	（弥栄病院看護部）
坪倉 年江	（弥栄病院看護部）
小林 吉枝	（弥栄病院看護部）
大江 祥子	（弥栄病院看護部）
仲田 夕子	（久美浜病院看護部）

あなたの声を市政に

ご意見箱

紙面の都合によりご意見などを一部割愛させていただいています。

Q 急傾斜地危険箇所区域の規制について

峰山から丹後町方面の丹波地内で木を伐採し、煙が出ていたことがあり、知人に聞くと樹木を伐採し桜を植林することとした。

また、市から補助金が出ていると聞きましたが、その場所は、市の防災マップを見ると急傾斜地危険箇所指定されています。

樹木を伐採することは、治水力が低下し、降雨時には直下の民家が危険にさらされる状態になると思います。



3月14日、地域のかたで桜を植栽

Q 光ブロードバンドの整備について

光ブロードバンドの整備についてですが、たくさん申し込みがあり、かなりの時間がかかると聞いています。そこで一つお願いがありまして、新規の住宅や事業（新たに電話回線を引く場合）については、優先して工事をしていただけないでしょうか。

市の担当のかたに確認したところ、申し込みの順番なので待つてもらわないといけないというお答えでした。工事が完了するまでの間は、従来の電話回線を引いて、ADSLで使ってくださいとのことでした。

順番ということはもちろん理解しますが、費用もかなり二度手間になるので、なんとかならないでしょうか。

【無記名】

A お申し込み順で行っているすのびネット承ください

光ファイバの引き込み工事については、第一次で申し込みいただきましたかたを対象に順次行っていることです。一万二千件を超える非常に多くのお申し込みの中で、それぞれの自宅への引き込み工事を、電柱架線や道路占用などの許可を得ながら実施しています。

このため、ご要望のありました新

植樹しても治水効果がでる「根」に成長するまで相当の年数を要すると思います。

安心・安全なまちづくりをうたう市として、市の防災マップに図示された危険箇所での開発、造成などについては規制がないのかお尋ねします。

【市内・男性】

A 現時点では規制は受けませんが、基礎調査の結果によります

ご意見をいただきました市の防災マップは、主要な河川の堤防が決壊した場合に想定される浸水状況や土砂災害危険箇所、避難場所を示しており、このマップ上の危険箇所につきましては、土砂災害防止法に基づき順次現地の基礎調査を行っております。ご指摘の区域につきましては、マップでは急傾斜地崩壊危険箇所となつていますが、現在基礎調査の未実施区域であり、今後の調査結果によっては規制を受ける区域となる場合があります。現時点では土砂災害防止法による規制を受ける区域ではありません。

なお、本区域は、放置竹林の拡大

Q 防災行政無線について

規の住宅や事業について、優先して行うことはできませんのでご理解いただきますようお願いいたします。

【情報政策課】

防災行政無線から、月曜日と木曜日の午後八時には、市からお知らせが流れてきます。放送されるかたにもよりますが、早口になったり、文末が聞こえにくいなど、お知らせ内容が聞きづらい場合があります。

一度放送が終わってしまうと、聞き直すことができませんので、やるからには、専門的に話し方などを勉強して、聞きやすい放送をお願いします。

たいへんですが、今後に期待します。

【市内・男性】

Q 天下りについて

により山が荒れて森林機能が低下し、里山の景観が悪化しているため、地元のかたが、放置竹林を伐採して竹の有効活用を図られるとともに、桜を植樹して公園化し地域環境の改善を図られたものです。この取り組みが、京丹後市緑の公共事業「里山環境整備事業」の趣旨に合致すると認められましたので補助金の交付を決定しています。

【管理課・農林整備課】

現在の政府も言っていますが、役人の天下りは理解しがたい。

噂では、京丹後市では、学校の先生は退職後も仕事があり、なかには五年以上も仕事を続けているかたもおられるということですが、本当のことでしょうか。

景気の回復を望み苦しんでいる住民も多数いるということをお汲み取りいただくとともに、京丹後市内に天下りが存在するのであれば、だれもが理解できるような措置をとってください。

【市内・男性】

A 一般的に言われています天下りには該当しないと考えています

まず、ご意見にあります、「学校の

A 今後も、聞きやすい放送とできるよう努めていきます

防災行政無線の定時放送は、秘書広報広聴課と総務課の職員が、毎回順番で行っています。この中には、ラジオ局のアナウンサーの話し方講習を受講した職員もいます。市内全



デジタル防災行政無線の録音システム

世帯へお届けする放送であることから、機会があれば、そうした研修を受けていきたいと思いますが、まずは、職員が回数を重ねて、放送に慣れることによって、少しでも話し方の上達につなげていければと思います。

放送の方法は、原稿を作成して読むという形で録音をするものですが、何度も録り直すなどして、聞きやすいように努めてもいるところでありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、ご意見にあります聞き直すことについては、戸別受信機の録音ボタンを押していただくと、時間に限りはありますが、その放送を録音することもできますので、ご利用いただければと思います。

【総務課】

「ご意見箱」投稿に際してのおねがい

ご意見箱へお寄せいただくご意見には、お名前などの個人が特定できる部分やプライバシーに関わる部分を除き、すべてお答えすることとし、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただきます。一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えすることとしています。

ホームページには、個人情報に関するものを除き、随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確でいねいな回答をお返すように努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返すために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。

市立図書館 ご案内

★ 子ども読書絵てがみ展 巡回展示

子ども読書の日（4月23日）の啓発事業として、京都府教育委員会が募集しました「子ども読書絵てがみコンテスト」の入賞作品を、2月25日～3月3日の間、弥栄地域公民館ロビーで展示しました。市内の子どもたちの素晴らしい作品などを来館された多くのかたにご覧いただきました。



★ 絵本の力 ③ 読み聞かせは「耳からの読書」

幼い子どもは、文字を読めないから読書をしていないかという決断はしてはいけません。大人からお話を語ってもらったり読み聞かせをしてもらうことによって、絵を見たりお話を聞いて「耳からの読書」をしています。想像力を働かせ、脳をフル回転させながら聞くことによって、そのお話が貴重な体験のひとつになっていくのです。

「耳からの読書」をたくさん経験することによって「目からの読書」ができるようになっていわれています。文字を読めるようになったばかりの子どもは、ただ読むことだけで精いっぱいです。「もうこれからはひとりで読みなさい」と突き放さずに、ぜひ親子で楽しみながら、できるだけ長く読み聞かせをしてあげてください。



★ 新刊コーナー ご案内

図書館には、古い時代から保存している貴重な本や資料もたくさんありますが、「新刊」も積極的に取り入れています。1年間に7、8万冊出版されるともいわれている「新刊」については、新聞の書評などの情報を参考にしながら職員が選書しています。

新刊をなるべく早く読んでいただくために、データ処理などの受け入れ作業後は、しばらくの間、目に止まりやすいよう、「新刊コーナー」を設けて置いています。各図書館をご利用の際には、ぜひご注目ください。



▲あみの図書館



▲峰山図書館

4月の休館日

12日(月)・19日(月)・26日(月)

5月の休館日

6日(木)・7日(金)・10日(月)

蔵書点検のための臨時休館日

図書館(室)名	休館期間
あみの図書館	4月12日(月)～15日(木)
大宮・弥栄図書室	4月15日(木)～16日(金)
峰山図書館	4月19日(月)～21日(水)
丹後・久美浜図書室	4月22日(木)～23日(金)

※休館日は、4月9日以降から次号発行日の5月10日までを掲載しています。



丹後で陶けんを発見された奥村清一郎さんが講座



陶けんを自在に吹かれ「朧(おぼろ)月夜」などを演奏

市では、市民のみなさんに市内の豊富な文化財を知っていただくとともに、郷土に対する愛情と誇りを持って「まちづくり」に生かしていただくことを目的に、京丹後市文化財セミナーを開催しています。

今回は「陶けん」という、今から二千数百年前、弥生時代前期に使用された卵型をした土の笛をテーマに取り上げました。

京都府立丹後郷土資料館の奥村清一郎さんによる「タカノの遺跡と弥生の土笛」と題した陶けん講座では、神明山古墳(丹後町宮)と網野銚子山古墳(網野町網野)の比較や、「神明山古墳は竹野媛のお墓だ」とする持論を展開。陶けんが日本海沿いに西から丹後に伝わったことなど詳しく話されました。

また、陶けんコンサートでは、サウンドアーツの鈴木昭男さん(網野町小浜)による演奏が行われました。鈴木さんは昨年、陶けんが出土した遺跡を巡る旅に連れられ、その旅の各遺跡で感じたイメージを作曲。心休まる陶けんの演奏を披露されました。

古代の楽器 陶けん(土笛)で 古代の丹後を探る

弥生時代の贈り物

市内から出土した「陶けん」をテーマに、3月13日、「陶けん講座と陶けんコンサート」を丹後地域公民館(丹後町間人)で開催し、参加された約60人のかたが、古代弥生時代の丹後の情勢を学び、陶けんの奏でる音色に聴き入りました。

京都府丹後文化会館からのお知らせ

■お問い合わせ先
京都府丹後文化会館
☎ 62-5200

丹後映画大好き劇場 No.22



◎場 所…京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
◎上映開始…4月25日(日)
① 10:00 ② 14:00 ③ 18:30
上映時間(2時間19分)
◎入 場 料…【一般】前売 1,200円(当日 1,500円)
【シニア】前売・当日 1,000円
【高校生以下】前売・当日 800円
※シニア…60歳以上・要証明 ※3歳以上有料
◎主 催…(財)京都府丹後文化事業団

丹後映画大好き劇場 No.23



◎場 所…京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)
◎上映開始…5月22日(土)
① 9:30 ② 13:00 ③ 16:00 ④ 19:00
上映時間(2時間06分)
◎入 場 料…【一般】前売 1,200円(当日 1,500円)
【シニア】前売・当日 1,000円
【高校生以下】前売・当日 800円
※シニア…60歳以上・要証明 ※3歳以上有料
◎主 催…(財)京都府丹後文化事業団

ふるさとへの誇りと愛着を育む



ちりめん製の卒業証書を受けとる卒業生代表（峰山中学校）

中学校で
卒業式
ちりめん製の
卒業証書授与

三年間の中学校生活を締めくくる卒業式が、三月十二日、市内全九校で二斉に行われ、卒業生（計六百九十五人）に、ちりめん産地にちなんだ、ちりめん製の卒業証書が手渡されました。

市内の中学校の卒業式では、若い世代に対し、これまで本市の基幹産業として地域経済を支え、地域の発展に貢献してきた「ちりめん」の歴史や文化に興味を持っていただくきっかけづくりとして、卒業生みなさんにちりめん製の卒業証書を渡しています。

この取り組みは、平成十三年の三月に網野町ではじまり、合併後は市内全中学校に範囲を拡大。現在は、京丹後市きもの交流会（小石原将夫会長）と各中学校が協力して行っています。

また、同会は、ふるさと・京丹後への造詣と愛着が深まることを期待するとともに、将来の丹後産地を担う後継者が現れることへの願いを込め、和紙に卒業生に贈るメッセージを作成。メッセージは、卒業証書とともに卒業生に手渡されました。

京丹後市内の 100歳以上のかたの 「夢」を紹介

『100歳の夢』

出版

NPO法人気張る！ふるさと丹後町

「100歳の夢」を発刊
NPO法人気張る！ふるさと丹後町

（小倉剛成理事長）



サイズ…B5変形
(225mm×188mm)
ページ数…80ページ
価格…1,200円(税別)

「NPO法人 気張る！ふるさと丹後町」（小倉剛成理事長）ではこのほど、木村次郎右衛門さんの男性日本最長寿を記念し、市内の百歳以上のかた十五人に「夢」などを尋ねてまとめた本『100歳の夢』を出版されました。

市内には、国内男性最長寿の木村次郎右衛門さん（丹後町中野・百十二歳）をはじめ、百歳以上のご長寿のかたが五十七人在住されており、百寿率（人口十万人あたりの百歳以上のかたの割合）は全国平均の約三倍もあるなど、本市はまさに健康長寿のまちといえます。

同NPO法人では、「多くのご長寿のかたが、長生きの秘けつを『生きがいを持つこと』とお答えになるように、人生には夢や目標といった『生きがい』を持つことが大切」であるとして、市内のご長寿のかたからそのヒントを得ようと、今回の本の制作を企画されました。本の中には、木村次郎右衛門さんをはじめ市内のご長寿のかた十五人にさまざまな質問をし、お答えになった言葉などを写真とともに掲載。「夢」をはじめ、百年間という長い人生を生きてこられたからこそ出てくる「大事な言葉」や「生きる力」がたくさん詰まった本として、出版されました。

■お問い合わせ先

NPO法人気張る！ふるさと丹後町

☎ 0772-1760-130

人口・世帯数

男	29,928人（-21）
女	31,913人（-24）
計	61,841人（-45）
世帯数	22,160世帯（-9）

（3月1日現在・（ ）内は前月比）

発行／京丹後市役所 編集／秘書広報広聴課
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
☎ 0772-69-0110 FAX.0772-69-0901
ホームページ <http://www.city.kyotango.lg.jp>
E-mail hishokoho@city.kyotango.lg.jp